年　　　月　　　　日

（債務者）

東京都千代田区○○○○

■■■■株式会社

代表取締役 ▲▲ ▲▲ 殿

（主要債権者）

東京都千代田区○○○○

株式会社××銀行 ××支店

支店長 ▲▲▲▲ 殿

東京都千代田区■■■■

株式会社▲▲銀行 ▲▲支店

支店長 ○○○○

事務所名：

氏　名：

**利害関係に関する確認書**

当職は、「中小企業の事業再生等のための私的整理手続」に基づく債務者■■■■株式会社からの申出に関し、第三者支援専門家としての中立公正性に疑義を生じさせる特別の利害関係（債務者又は対象債権者と指導・助言契約、法律・会計・税務顧問契約その他これに類する継続的契約を締結している等、本手続又は事業再生計画案の公正を妨げるべき事情）がないことを確認いたします。

以　上

年　　　月　　　　日

対象債権者各位

**一時停止のお願い**

(債務者)

［住所］

［会社名］

代表取締役　　○○　○○　　　 印

拝啓　時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

　さて、当社は、中小企業の事業再生等に関するガイドライン（以下「ガイドライン」といいます。）第三部に規定される中小企業版私的整理手続に基づき、ガイドラインに定める主要債権者の意向も踏まえて、下記１の第三者支援専門家の支援のもと、事業再生計画案の策定を開始することとなりました。

対象債権者におかれましては、事業再生計画案の策定にご協力賜りたく、下記２の一時停止期間において元金の返済を猶予いただくとともに、下記３の行為を差し控えていただくようお願い申し上げます。

なお、当社の作成する事業再生計画案には、債務減免等の要請を含まないことを見込んでいます。[[1]](#footnote-1)

敬具

記

１　第三者支援専門家

［住所］

［氏名］

［連絡先］

２　一時停止期間

○年○月○日から○年○月○日迄

３　差し控えをお願いする行為

1. ○年○月○日における与信残高（手形貸付・証書貸付・当座貸越などの残高）を減らすこと
2. 弁済の請求・受領、相殺権を行使するなどの債務消滅に関する行為をなすこと
3. 追加の物的人的担保の供与を求め、担保権を実行し、強制執行や仮差押・仮処分や法的倒産処理手続の申立てをすること

以　上

年　　　月　　　　日

対象債権者各位

**一時停止のお願い**

(債務者)

［住所］

［会社名］

代表取締役　　○○　○○　　　 印

拝啓　時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

　さて、当社は、中小企業の事業再生等に関するガイドライン（以下「ガイドライン」といいます。）第三部に規定される中小企業版私的整理手続に基づき、ガイドラインに定める主要債権者の意向も踏まえて、下記１の第三者支援専門家の支援のもと、事業再生計画の策定を開始することとなりました。

対象債権者におかれましては、事業再生計画の策定にご協力賜りたく、下記２の一時停止期間において元金の返済を猶予いただくとともに、下記３の行為を差し控えていただくようお願い申し上げます。

なお、当社の再生の基本方針は下記４のとおりです。[[2]](#footnote-2)

敬具

記

１　第三者支援専門家

［住所］

［氏名］

［連絡先］

２　一時停止期間

○年○月○日から○年○月○日迄

３　差し控えをお願いする行為

1. ○年○月○日における与信残高（手形貸付・証書貸付・当座貸越などの残高）を減らすこと
2. 弁済の請求・受領、相殺権を行使するなどの債務消滅に関する行為をなすこと
3. 追加の物的人的担保の供与を求め、担保権を実行し、強制執行や仮差押・仮処分や法的倒産処理手続の申立てをすること

４　再生の基本方針

（記載例１　スポンサー型の場合）

当社といたしましては、今後選定するスポンサーによる支援に基づく債務減免を含む事業再生計画案の策定を予定しております。スポンサーによる支援を得られることにより当社事業の再生を図ることができることが、対象債権者を含む利害関係者にとって有利であることをご説明することにより、協力が得られる見込みがあるものと考えております。

（記載例２　自主再建型の場合）

　　　当社といたしましては、最大限の自助努力施策に取り組むとともに、財務及び事業のデューデリジェンスの内容を踏まえ事業再生計画案を策定する所存ですが、現在の当社の財務状況及び収益力を踏まえますと、債務減免を含む事業再生計画案の策定となる可能性もあるものと考えております。その場合にも、相当性、実行可能性の認められる事業再生計画案をお示しし、当社事業の再生を図ることができることが、対象債権者を含む利害関係者にとって有利であることをご説明することにより、協力が得られる見込みがあるものと考えております。

以　上

年　　　月　　　　日

対象債権者各位

**一時停止のお願い**

(債務者)

［住所］

［会社名］

代表取締役　　○○　○○　　　 印

拝啓　時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

　さて、当社は、中小企業の事業再生等に関するガイドライン（以下「ガイドライン」といいます。）第三部に規定される中小企業版私的整理手続に基づき、ガイドラインに定める主要債権者の意向を踏まえて、下記１の外部専門家の支援のもと、弁済計画案の策定を開始することとなりました。

ガイドラインに基づき、一時停止の要請を行うことにつき主要債権者全員の同意を得ましたので、対象債権者におかれましては、弁済計画案の策定にご協力賜りたく、下記２の一時停止期間において元金の返済を猶予いただくとともに、下記３の行為を差し控えていただくようお願い申し上げます。

敬具

記

１　外部専門家

［住所］

［氏名］

［連絡先］

２　一時停止期間

○年○月○日から○年○月○日迄

３　差し控えをお願いする行為

1. ○年○月○日における与信残高（手形貸付・証書貸付・当座貸越などの残高）を減らすこと
2. 弁済の請求・受領、相殺権を行使するなどの債務消滅に関する行為をなすこと
3. 追加の物的人的担保の供与を求め、担保権を実行し、強制執行や仮差押・仮処分や法的倒産処理手続の申立てをすること

以　上

1. 債務減免等の要請を含まない事業再生計画案を作成することが見込まれる場合は、その旨を記載。 [↑](#footnote-ref-1)
2. 「再生の基本方針」は、事業再生計画案において債務減免等の要請が含まれる可能性がある場合に記載。 [↑](#footnote-ref-2)